平成22年度に実施した事務事業の評価

番号	7011	事務事業名	指定統計調査事業	所管課	経営企画課

総合計画体系（後期）			
	部	0	行財政
	章	1	効果的・効率的な行政経営の推進
	節（施策）	1	市民のための行政サービスの充実

【将来像】

節（施策）の目的です。後期基本計画の施策の将来像を確認し、転記してください。

市民がのぞむ行政サービスが提供されています

【事業の内容】

誰・何に対して、どんな手段を実施していますか（しますか）？

統計法に基づき、国や地方自治体の政策運営に活かすため、社会や経済の動向を把握するのに重要な統計を実施する。（主には国勢統計、労働力調査、就業構造基本調査、経済センサス、工業統計調査、商業統計、農林業センサス、漁業センサス、全国物価統計調査。）また、市の統計調査印として登録している人、もしくは登録を希望する人に、統計調査の意義や必要性を理解してもらうとともに、資質向上のための研修会を開催して調査員に必要な人材を確保する。

事業費（単位：千円）		21年度決算	22年度決算	23年度予算
事業費合計		5,992	36,391	4,642
財源内訳	国・県支出金	5,968	36,253	4,624
	地方債			
	その他			
	一般財源	24	138	18
財源名	国・県支出金	統計調査費委託金	統計調査費委託金	統計調査費委託金
	地方債			
	その他			

【事業の効果】

誰・何がどのような状態になることを目指していますか？

法律・政令に基づき、統計調査を正確、適切に実施する。

指標名（成果指標）	説明・算定式	単位	実績の推移			22年度		目標値			
			19年度	20年度	21年度	目標	実績	23年度	24年度	25年度	26年度
事件事故件数	調査中に起こった事件事故件数	件					1				
調査実施率	調査した数／調査対象数	%	100	95	100	100	100	100	100	100	100
研修会参加者数	市主催の調査員研修会に参加した人の数	人	20	26		40	24	40	40	40	40

平成22年度に実施した事務事業の評価

22年度 実施計画	調査票の紛失や盗難、個人情報漏洩、調査員の事故が起こらないように安全管理しながら調査を実施する。「国勢調査」では多数の調査員が必要となるため、地域に協力を仰ぐなどして必要数を確保する。
実施結果	実績となる数字も入れて、分かりやすく 調査票の紛失や盗難、個人情報漏洩、調査員の事故が起こらないように安全管理しながら調査を実施したが、国勢調査において調査中の事故が１件発生した。

【一次評価（担当課から）】

必要性の評価		その評価をした理由
市民のニーズはどうなっていますか？ 1　向上している　2　変わらない　3　低下している	評価 2	国や地方自治体の政策運営に、引き続き活用されてる。
民間、国、県、市が行う他の事務事業と 事業の目的や成果が重複していませんか？ 1　重複していない　2　一部重複している　3　重複している	評価 1	各調査間の調査項目の重複、各調査毎の国、県、市による調査対象の重複はない。
有効性の評価		**その評価をした理由**
目的に対しての成果はどうなっていますか？ 1　向上している　2　変わらない　3　落ち込んでいる	評価 3	国勢調査において調査中の事故が１件発生した。
市民参画協働の推進や、 社会情勢の変化などに対応できていますか？ 1　対応できている　2　対応の必要がない　3　対応できていない	評価 2	統計法に基づく調査であるため、協働による実施の余地がない。
効率性の評価		**その評価をした理由**
コスト効率はどうなっていますか？ 1　向上している　2　変わらない　3　低下している	評価 2	
公平性の評価		**その評価をした理由**
特定の受益者に偏っていませんか？ 1　偏っていない　2　法律や条例でやむを得ず偏っている 3　偏っている	評価 1	国や地方自治体の政策運営に活用されるため、受益者に偏りはない。

総合評価と今後の方針			具体的な改善策
内容	維持	法律・政令に基づき、正確な調査を実施していくとともに、調査中の事故が発生しないようにする。	調査中の事故発生を防止するため、調査員事務打合せ会時に安全確保に関する議題を設け、安全確保について調査員の自覚を促す。
予算	維持		

【平成24年度に向けての二次評価（最終評価）】

理由及び検討事項		
内容	維持	今後も効率的・効果的に事業を実施する必要がある。
予算	維持	